



国際ロータリー第2790地区

2019-20年度  
ガバナー 諸岡靖彦  
【ガバナー事務所】  
〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森 3-1-1-302  
Tel. 043-284-2790 Fax. 043-256-0008  
E-mail: 19-20gov@rid2790.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2790

2019-20  
GOVERNOR YASUHIKO MOROOKA  
【2019-20 RID2790 GOVERNOR OFFICE】  
3-1-1-302, TSUBAKIMORI, CHUOKU, CHIBA-CITY, JAPAN 260-0042  
Tel. +081-43-284-2790 Fax. +081-43-256-0008  
E-mail: 19-20gov@rid2790.jp

## ガバナー月信 号外 - 4

2020 - 4 - 8

### 千葉にも緊急事態宣言

国際ロータリー第2790地区ガバナー 諸岡 靖彦

政府は7日、新型コロナウイルスのこれ以上の感染拡大を抑えることを目的として、我が千葉県を含む7都府県に対して「**人と人との接触を極力減らし、医療提供体制を整えるため**」緊急事態宣言を発令しました。期間は5月6日までの30日間です。

既に号外-2号で4月以降の対応について発信しておりますが、緊急の度合いがワンステージ厳しくなりましたので、改めてガバナーとしての私見をもって、地区内ロータリアンの皆様に呼びかけるものです。

この期間のロータリーの会合は原則として、人が集まる形式のものは控えるべきです。クラブ会長や地区委員長が必要な会合であると判断した場合は、密閉、密集、密接の3密を回避して、マスク着用、手指の消毒体制を整えて、限られたメンバーで、短時間の会合とするべきです。例会の緊急時の休止は、クラブ理事会の議決を以って、定款の規定の範囲を超えた柔軟な決定を許容します。こうした判断から、地区委員会レベルでは、4月18日の米山合同オリエンテーション、19日の財団奨学生申請者選考試験については会合を見合わせることにいたしました。事態の推移を見て、緊急事態宣言が解除された後の実施といたします。

この際に、人が一か所に集中せず会合すること、つまり**オンラインで会合する会合、会議、研修を大いに推奨する**ものです。この機会に、この流れは一挙に進めるべきです。今、危機に瀕している大都会の「医療崩壊」に対しても、自宅療養や軽症患者にオンライン診療が普及すれば、病院が重症者治療に専念できて、院内感染も防げることでしょう。この緊急事態で一番懸念されている児童、生徒の教育分野でも、新学期が始まっても春休みの延長では、子供たちの規則正しい生活習慣が緩み、学力低下や学力格差が生じます。オンライン学習の環境が一挙に整うことでしょう。企業においても、在宅勤務（テレワーク）が軌道に乗れば、働き方改革が進み、After CORONAの改革に弾みがつくでしょう。

今回のように、現存する人々の知見を超える事態が急激かつ大規模に急襲する災いに見舞われた時、リーダーとして組織に帰属する人々の生命、財産を安堵する立場に立つ者は、どうあったらよいのでしょうか！？

一つは、リーダーが私心を去り、自分一個の欲得を捨て、大義に立つことでしょう。しかし、これが出来るのは滅多に現れない『稀人』のリーダーです。ことのすべてに通じた聖人リーダーが危機の淵に挑み、身を捨てて浮かぶ瀬をつくるような話です。現実には得がたい話です。

いま一つは、小生のような凡人（もしくは普通の俗人）のリーダーが、後につづく人々を安全に導く手立てとするものです。それは、『**闇夜の一点**』という行き方です。先が見通せないという



国際ロータリー第2790地区

2019-20年度  
ガバナー 諸岡靖彦  
【ガバナー事務所】  
〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森 3-1-1-302  
Tel. 043-284-2790 Fax. 043-256-0008  
E-mail: 19-20gov@rid2790.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2790

2019-20  
GOVERNOR YASUHIKO MOROOKA  
【2019-20 RID2790 GOVERNOR OFFICE】  
3-1-1-302, TSUBAKIMORI, CHUOKU, CHIBA-CITY, JAPAN 260-0042  
Tel. +081-43-284-2790 Fax. +081-43-256-0008  
E-mail: 19-20gov@rid2790.jp

ことでは、月の出ていない闇夜に先の見えない道を歩いているような状況を考えてみてください。たまたま手にしている提灯（ちょうちん）の一灯があれば、自分の足下を照らして、一步一步、道の左右に細心の気を配って、歩みを着実に進めてゆくことで安全と安心が計られ、帰属する人々の無事を実現出来るでしょう。この『闇夜の一灯』に当たるものが、ロータリーで言えば5つの中核的価値観です。危機状態において、**奉仕、親睦、多様性、高潔性に裏打ちされたリーダーシップの発揮**こそ『闇夜の一灯』です。

ロータリーは創立以来、かつて経験したことのない、厳しい未知の苦難を乗り越えてきました。2度の世界大戦や大恐慌にもその都度、新たな適応を重ねてきた歴史を有しています。そしてポリオの絶滅も「あと少し！」です。今回のコロナ・ショックは公衆衛生への理解と実践が一挙に進むことで、大目標に近づくことが期待されます。こうした展望に立てば、次のステップに勇躍して進むことが出来るでしょう。

この緊急事態宣言は欧米のように強制力を伴うものではありません。日本人のすべての市民や企業・団体が政府の指導に従うことが大切です。我が国の民主主義が問われているときです。各地、各職域においてそのリーダーたるロータリアンの行動に期待します。